

義農公園再整備事業 主な提案条件・提案の余地整理表（参考）

本表は、要求水準書及び既往設計図書を踏まえ、本プロポーザルにおける主な条件と提案の余地を分かりやすく整理した参考資料である。

本事業は、既往設計図書に示す設計意図、主要機能及び配置計画を基本として実施設計・施工につなげるものであり、施設計画をゼロから自由に提案するものではない。提案は、要求水準を満たした上で、本表の「提案の余地」に示す事項を中心に行うものとする。詳細は要求水準書その他の公募資料による。

No.	項目	必須条件	提案の余地
1	コンセプト・社会実験	「みんなでつくる・育てる」及び「義農公園を育てる5つのヒント」を基本とし、整備後の使われ方や管理運営まで見据える。	社会実験の内容・方法、地域の参加、使い手・担い手の育成、検証結果を実施設計、施工及び維持管理・運営準備へ反映する方法。
2	配置・造成	既往設計図書に示す主要施設の配置・ゾーニングを基本とし、各施設の関係性及び設計意図を維持する。周辺道路との高低差及び芝生広場の起伏は、実施設計上の検討条件とする。	現地条件、利用性、安全性、排水、施工性、維持管理性等を踏まえた必要な範囲での配置、計画地盤高、造成形状等の調整。
3	園路・舗装	バリアフリー動線、安全性、排水性、各施設へのアクセス及び周辺道路とのすり付けを確保する。	園路・舗装の範囲、舗装の種類・材料・仕上げ、舗装構成及び各空間の使い方に応じた舗装の使い分け。景観、歩きやすさ、透水性、耐久性、維持管理性、コスト等を踏まえた提案。
4	雨水貯留施設上部	許容上載荷重10kN/m ² 、標準土被り1.0mを基本とし、構造上の安全性、点検及び維持管理に支障を生じさせない。	荷重条件を満たす基礎・盛土等の構造、施設配置との納まり、通気口・点検口等の安全性、利用性及び意匠上の工夫。
5	遊具・遊び	タコのすべり台及びはんぎり競漕をモチーフとした遊具を整備する。その他要求水準書に定める遊具・遊び機能を確保する。	タコ・はんぎりを含む遊具の形状、素材、配置、安全領域等。非直線的なアスレチック系オリジナル遊具は提案対象とする。
6	スポーツ・駐車	スポーツ広場を整備し、バスケットリング及びスポーツウォールを各2基設置する。常設駐車区画10台分を確保し、スポーツ広場は臨時駐車利用にも対応する。	リング・ウォールの配置・向き、防球対策、ライン、照明、車両・歩行者動線、安全対策及び臨時駐車時の利用方法。

No.	項目	必須条件	提案の余地
7	建築施設	交流・体験学習棟、大屋根、フォリー及び倉庫等を整備し、要求水準書に定める必要機能を確保する。交流・体験学習棟、大屋根及び倉庫は、既往設計の位置・規模・基本構成を基本とする。	各施設の使いやすさ、内部構成・納まり、設備、収納、管理区分、維持管理性等の具体化・調整。フォリーの位置、形状及び配置方法は提案対象とする。
8	義農神社との関係	義農神社は整備対象外とする。公園側の動線、景観、植栽、照明、サイン、建築物等について、義農神社との関係性に配慮する。	境界部、アプローチ、視線の抜け、植栽、照明、サイン等について、公園側で行う空間的な調和の工夫。
9	災害後生活支援・受援	平時利用を基本としつつ、発災後の中長期的な生活支援・受援に活用できる機能を確保する。マンホールトイレ、かまどベンチ等を整備する。	平時と災害後の具体的な使い方及び、既定の機能に加えた実現可能な生活支援・受援機能。
10	維持管理・運営・参加	安全性、耐久性、更新性及び維持管理性を確保し、供用開始後の管理運営を見据えた計画とする。	設備、収納、動線、管理区分等の工夫、地域住民・地域団体等が維持管理・運営に関わる仕組み、使い手・担い手の育成、寄附者顕彰やクラウドファンディング等を通じた参加型の仕組み。
11	工程・コスト	提案上限価格 8 億円の範囲内で要求水準を満たし、要求水準書に定める工程条件に従い令和11年1月31日までに本事業を完了する。	DB方式を活かした工程管理、調達・施工方法、同等品・仕様調整等による、品質、コスト、工程及び維持管理性の両立。

※本表に記載のない事項は、既往設計図書を基本とする。実施設計上必要となる見直し又は調整については、要求水準書に基づき町と協議するものとする。